



岡山大学記者クラブ 御中

令和3年12月16日

岡山大学

市民公開講座「小児・AYA がん患者への支援」を開催 「将来の選択肢を広げるために、今できること」

◆発表のポイント

- ・がん患者の中でも、小児・AYA（若年成人）の比率は高くなく種類も多様なため、今まではあまり注目されず、その支援も不十分でした。
- ・しかし、国の第3期がん対策推進基本計画では、ライフステージに応じた治療や支援を進めるとしています。
- ・今回、がん治療のみではなく、当事者の方の経験や思いを聞くとともに、将来の妊娠のための妊孕性温存、心理的な支援などの実際を考えます。
- ・当事者や家族の方、医療、教育、行政の関係者の参加により支援の輪を広げたいと思います。

がん患者の中でも、小児・AYA（若年成人）の比率は高くなく、がんの種類も多様なため、今まではあまり注目されず、その支援も不十分でした。また、AYA（若年成人）については診療体制さえも整っていない現状でした。

小児・AYA の患者では、治療後も長期にわたりフォローアップを要すること、年代によって 就学、就労、生殖機能等の状況が異なり、心理社会的状況も様々です。このため、国の第3期がん対策推進基本計画では、個々の状況に応じた多様なニーズが存在することから、成人のがんとは異なるライフステージに応じた治療や支援を進めるとしています。

このため今回、岡山大学病院のリプロダクションセンターと中四国広域がんプロ養成コンソーシアムの合同企画により市民公開講座「小児・AYA がん患者への支援」を開催、「将来の選択肢を広げるために、今できること」を議論します。

この市民公開講座では、小児・AYA がんを経験した方、支援を実践されている方々、小児・AYA 世代のがん治療を行っている方からのお話を聞くことができます。様々な立場の参加者が、「小児・AYA がん患者及び経験者とその家族への支援のありかた」をともに考え、情報を発信する機会になればと考えています。新型コロナ対策、また、広く多くの方に参加していただくため WEB 開催としてします。どなたでも、ぜひ、ご参加ください。

日時：2022年2月27日 13～16時

参加費：無料

参加申込先：岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等学務課中四がんプロ事務局 市民公開講座係

Eメール ganpro@adm.okayama-u.ac.jp



◆研究者からのひとこと

岡山大学病院リプロダクションセンターでは、がん患者の妊孕性温存治療を行うとともに、この治療を広く知っていただくための活動をしています。がん生殖に関する各種のパンフレット類もホームページからダウンロード可能です。

「がんと生殖医療ネットワーク OKAYAMA」代表
岡山大学病院リプロダクションセンター センター長
岡山県不妊専門相談センター センター長



中塚教授

<お問い合わせ先>

岡山大学大学院保健学研究科 中塚研究室
岡山大学生殖補助医療技術教育研究（ART）センター
教授 中塚 幹也
（電話番号）086-235-6538（FAX兼）



岡山大学は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。